

国際興業グループ 国際興業観光バス株式会社



取締役社長 森田 美雄 氏



オフィス内



『スマイル&ハート』のサービスで、貸切観光はおまかせください。

『スマイル&ハート』の スローガンの下、新体制で本格始動

国際興業観光バス株式会社は、07年に国際観光バス株式会社から事業譲渡を受け、森田美雄取締役社長の下、新体制をスタート。08年7月には国際興業株式会社の貸切観光バス部門も同社に合流し本格的に始動した。現状をはじめ、今後の展望や事業展開について、森田社長に伺った。

「大手エージェンツ等の顧客層がほとんど重複しないことから、営業面での相乗効果を狙って旧国際観光バスと事業統合をしました。それにより、守備範囲・行動範囲はずいぶんと広がりました」

現在、東京地区、埼玉地区、神奈川地区で営業展開。車両台数は83台にのぼる。

「元々は両社ともに50台規模で本来単純計算で合わせて100台規模のところですが、車庫のキャパシティの問題もあって、83台に絞り込みました。50台規模からすれば約30台増えています。しかし、今の83台が適正台数かどうかは将来的には検討課題だと思っており、業界や市場の動向も踏まえながら、柔軟に判断していきたいと考えています」

やはり二つの組織を一つにするのは、車両のようにはいかないようだ。「同じ観光バス事業ですし、点呼の仕方から出庫、入庫、そして終わって帰る

まで、だいたい同じ流れなんだろうなと想像していたのですが、予想以上に違ってましたね。白と黒なら間をとってグレーにというのが、二つの色を一つにするための一番単純な方法なのかもしれないけれど、人や組織はそうはいきませんからね。運輸事業は最終的には人で評価が決まりますから。色合いを一つにしていくには慎重に進めて最終的には5年位かかるのかなと考えています」

その取り組みの第一歩として、新会社の営業方針・スローガンを全社員から募集した。

「人的な結束力を高める意味も込めて、皆に考えてもらいました。150点近く集まったと思います。その結果、決定したのが『スマイル&ハート』です。常に笑顔で接するのはこういう商売ですから当たり前ですが、決して作り笑いではなく、心の中からの笑顔で接しようよ、という意味です。乗務員、ガイド全員が受け入れてくれました。こういうところから連帯感が出てくるのではと思います」

また、今年に入ってから、営業戦略にも若干の軌道修正を行ったという。

「本来、観光バス事業者というのは、学生と一般とで分けると、いわゆる『御一行様』と呼ばれる一般の方のほうが利幅が大きく、その層のお客様を多くしたいものなのですが、昨年からの経済状況の変化で、会社関係、個人を含めた一般

のお客様のキャンセル等が増えてきています。一方で比較的不況の影響を受けてないのが学校関係のご利用です。単価的には下がりますが、キャンセルがなく年間である程度の見通しが立ちますし、学校関係の比率を高めるように営業戦略をシフトしました。同時に富裕層向けに絞った車両の稼働も堅調なので、そのあたりのニーズもしっかりつかんでおきたいと思います」

また、国や大手エージェンツがバス会社に求めるものにも変化が見られるようだ。

「これまでは価格面をメインに競争を強いられていましたが、安全や環境への取り組みを基準としたバス会社のランク分け・差別化の動きが大手エージェンツを中心にできてきています。当社としてはうれしい流れです。これまで培ってきたノウハウを含め、国際興業グループの観光バス会社として、安全面・サービス面にはかなりの時間と費用をかけていますからね。こういったトップレベルのサービスを武器に事業の拡大を図っていきたいです」

【会社概要】

会社名：国際興業観光バス株式会社
本社所在地：東京都中央区八重洲2-10-3
設立年月日：2004年4月
取締役社長：森田美雄(もりた よしお)
従業員数：180名
保有車両台数：83台